

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 420番
- *交読文 12番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 23番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 332番
- メッセージ いのちを選べ(ヨハネ 13:21-30)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 487番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎 次週は棕櫚の主日で聖餐礼拝です。主の苦難を覚えましょう。
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられる ように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れてお祈り下さい)

_____の戦いは、血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。(エペソ 6:12)

_____の戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります。_____は理屈を打ち破り、神の知識に逆らうあらゆる高慢を打ち倒し、あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ、また、_____の従順が完全なものになるとき、すべての不従順を罰する用意ができています。(2コリ 10:4-6)

「私は、きょう、_____に対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、_____の前に置く。あなたは、いのちを選びなさい。」(申命記 30:19) 私は_____の信仰がなくならないように、_____のために祈りました。だから_____は、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。(ルカ 22:32)

『一同が食事をしているとき、イエスは言われた。「はっきり言うておくが、あなたがたのうちの一人がわたしを裏切ろうとしている。』」(マタイ 26:21) イエス様は全ての人の思いをご存知であり、時にそれを喜び、時にそれを悲しみ、時には激情に駆られて、叫ぶ。(ヨハネ 13:21)

弟子達はこれを聞いた時「きつとあいつだ」とは誰も言わず「**主よ、まさか私のことでは**」と言って悲しんだ。イエスを裏切ろうとしていたユダが「**先生、まさかわたしのことでは**」と言うと、イエスは言われた。「それはあなたの言ったことだ。」このイエス様の応えは厳密に訳すと、「君がそう言うなら、そうかもしれない。」つまり、裏切り者であるかの白黒判断はイエス様がするのではなく、ユダに投げ返し、ユダに判断を委ねている。

実はこれ以前に、ユダの心にイエス様を裏切ろうとする**思い**を、予めサタンが入れていた。(ヨハ 13:2)

私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものであり(エペソ 6:12)、その戦いが展開される領域は、**思い(はかりごと)**である。皆さんも誰かに対して、あるいは過ぎ去った事に関して、どうしようもなく苦々しい思いが沸き起こり、その思いの中の状況と一人で対話したり、空想の中でその憎たらしい奴を叩きのめしたり、詮索しても仕方の無い過去を、堂々巡りに思い巡らしたりして、眠れぬ夜を過ごした事は無いだろうか。

そのような時はほぼ、サタンが自らの汚れた思いを吹き込んで見えて間違い無い。ユダは「イエスに仕えてメリツはあったか?」「あの時のイエスの行動はお前をばかにしているぞ」など、サタンが吹き込んだ思いと対話し、それを思い巡らせ、熟成させ、イエス様を裏切ろうとする決心を固めて行ってしまった。

サタンが私達に、悪しき思いを吹き込む時、それと会話せず、すべての**はかりごと**をとりこにしてキリストに服従させ(2コリ 10:5)、戸口で待ち伏せている罪に支配されるのではなく、**支配せねばならない**。(創 4:7)

弟子達はイエス様を「主」と呼び、ユダは「先生」と呼んだが、これは弟子とユダの違いを端的に表している。イエス様が主であるなら、主の思いが自分の思いと異なる場合、**主に従う**が、福音を何か自分から着脱可能な「教え」とし、イエス様を「先生」としている者は、いざという時、ユダのようにイエス様を捨ててしまう。イエス様が主従関係の「主」であり、私達が「従」であるなら、主がその人を牧し、導き、守って下さる。

イエス様はユダの所に歩いて行き、浸したパン切れを渡したが、実に不思議な事に、弟子達はそれを見て、「祭りに必要な物を買いなさい」とか、「貧しい人に何か施すように」とイエスが言われたのだと思っていた。言葉と所作の前後関係からして、ユダが裏切り者だと示しているのは明白であるはずなのに、弟子たちはなぜ分からなかったのか。

パン切れを浸して渡すという行為は、特別な親しみを示す行為であり(ルツ 2:14)、イエス様の所作は、裏切り者を示す行為だとは到底思えない程、優雅な品性に満ち、ユダへの愛情が込められていたのである。ユダはパンを受け取った時、イエス様は全てをご存知で、今悔い改めて遅くはないと気付くべきだった。しかしユダは逆に、それまで思いの中でサタンと対話し、熟成して来たイエス様への渦巻く思いを、取り返しのつかない爆発へと発展させる事を、許してしまった。

イエス様はそんなユダに「しようとする事を今すぐしなさい」と言い、ここでもユダの自由意志に委ねた。

主は、人の自由意志を束縛するお方ではなく、アダムやカイン、ユダの「裏切る自由意志」さえ尊重した。神は人を、神の似姿として創られた以上、その自由意志を尊重し、そして人が誤った選択をし、死と罪へと落ち込んでしまったのに対しても、一人子の命を捨ててまで救い出す程、人を愛し尽くしているのである。人は神さえ犯せない自由意志があるが、蒔いた種は必ず刈り取らねばならない事も覚えておくべきである。自由意志を使って、イエス様の下に立ち返る事ができるし、ユダのように立ち帰らない自由もある。

「私は、きょう、あなたがたに対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、あなたの前に置く。**あなたはいのちを選びなさい。**」(申命記 30:19)

今は恵みの時、救いの時。ユダのように、自分の思いを取ってイエスを売るのではなく、自分をイエスに明け渡し、いのちを得る事を選ぶ皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝	
1部礼拝(韓国語通訳あり)	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝	14:00
聖書勉強会	15:00

日々の集会		
月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木	夜の祈祷会	21:00～
水曜集会		
1部		13:00～
2部		19:30～
金曜徹夜祈祷会		21:00～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト